

教育出版 コミュニケーション英語Ⅰ（Ⅱ） 年間授業計画

講座名	コミュニケーション英語Ⅰ	担当者	
単位数	3 単位	選択・必修	必修
教科書	NEW ONE WORLD Communication I Revised Edition（教育出版）		
副教材等	NEW ONE WORLD Communication I Revised Edition 予習・復習ノート（教育出版） NEW ONE WORLD Communication I Revised Edition Workbook（教育出版）		

◎ 講座のねらい（目標）

- 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
- 英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。

◎ 授業の内容と学習方法

授業の内容は、中学校で学習した内容をふまえながら、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を使って、英語で情報を受け、発することを主眼に置く。教科書の各レッスンは、さまざまな題材を通して文化や生き方などを学び、考え、そのあとの練習で発信していく構成になっている。本文を読んで題材にふれ、コミュニケーションを支える文法・語法を学ぶと同時に、インタビュー、スピーチ、ディスカッションなど、さまざまなコミュニケーション活動を通して、英語を発信することの面白さを味わい、積極的に英語を話そうとする態度を身につけていくことを目指す。学習方法は、ペアワークやグループワークを広範囲に取り入れる。

◎ 履修上の留意点

英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには、英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を表現し、発信することが大切になる。そのためには、日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを述べる習慣をつけ、また、積極的に異文化にふれることを心がけるとよい。授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加し、他者と協力して行動していく姿勢が大切である。

◎ 評価の観点・方法

評価は、授業でのコミュニケーション活動への態度、ワークシートなどの提出物の内容、中間・期末の定期考査の成績、出席状況などを勘案して行う。各学期の成績を総合して年度末の学習成績とし、基準に到達すれば単位認定する。評価の観点は以下の通り。

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・コミュニケーション活動への参加態度 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
外国語表現の能力	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えているか。	・定期考査の成績 ・コミュニケーション活動の内容 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、その概要や要点をとらえ、情報や考えなどを的確に理解しているか。	・定期考査の成績 ・ワークシートの提出頻度と内容
言語や文化についての 知識・理解	・英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。	・定期考査の成績 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容

◎ 授業計画

学期	月	配 当 時 数	単 元	学習内容	備考（学習活動の 特記事項）	考 査 範 囲
1 学 期	4 月	8	Lesson 1 Let's See the World	・ だれもが1度行ってみて、見てみたいと思う場所や風景の紹介を通して、英語の有用性に触れ、英語学習のモチベーションを高める。 ・ 基本的な文構造（SV, SVC, SVO, SVOO, SVOC）と to 不定詞の定着を図る。 ・ 場所や人物についての情報をやり取りし、それを相手に伝えたり発表したりする。	・ペアワークで英語を学ぶ目的について会話する。	1 学 期 中 間 考 査
	5 月	8	Lesson 2 Bread Culture in Japan	・ 日本人の食生活にふれるとともに、世界や日本におけるパンの歴史について理解する。 ・ 比較表現（比較級、原級比較）、受け身、進行形の定着を図る。 ・ 興味や関心のある事柄について、話し合ったり意見の交換をしたりする。	・ペアワークで自分の好きな食べ物について会話する。	
	6 月	8	Lesson 3 Why Do Cats Purr?	・ ネコの生態についてふれながら、ネコの持つさまざまな特徴について理解する。 ・ 動名詞、SVO（＝that 節）、分詞の形容詞としての用法の定着を図る。 ・ 読んだり調べたりした情報や考えを聞き手に適切に伝える。	・ネコの特徴についてまとめ、友だちに伝える。	1 学 期 期 末 考 査
	7 月	8	Lesson 4 The Power of Anime	・ 日本のアニメについてふれ、アニメの歴史や影響力について理解する。 ・ 現在完了形、過去完了形、比較表現（最上級）の定着を図る。 ・ あるテーマについて、友だちと積極的にコミュニケーションを図る。	・ペアワークで、日本のアニメの歴史やアニメの人気について話し合う。	
2 学 期	9 月	8	Lesson 5 Projects with a Difference	・ さまざまなイベントについてふれながら、その成り立ちや考え方について理解する。 ・ 関係代名詞 who, which, that（主格）、whom, which, that（目的格）の定着を図る。 ・ 英語のリズムに慣れるとともに、紹介文を書いたり、発表したりする。	・身の回りにあるイベントについて、友だちに説明する。	2 学 期 中 間 考 査

	10月	8	Lesson 6 We Are the World	・苦しんでいる人々に対して、さまざまな方法で援助することができることを理解する。 ・SVO (=疑問詞節), SVO + to 不定詞/疑問詞+ to 不定詞の定着を図る。 ・学校生活の話題や、ボランティア活動などについて、情報や考えなどのやりとりを行う。	・グループでボランティアやさまざまな支援活動について話し合う。	
2学期	11月	8	Lesson 7 Learning about Science around You	・科学の目を通して見ることで、意外な事実や原理について考える。 ・It is ~ (for ...) to 不定詞, It is ~that ..., SVOC (= 現在分詞/原形不定詞) の定着を図る。 ・環境問題や身の周りの生活に関して、まとめて書いたり、発表したりする。	・グループで花粉症の対処方法について話し合う。	2学期 期末 考査
	12月	10	Lesson 8 The Ninth Symphony in December	・日本におけるベートーベン交響曲第九番の歴史について理解する。 ・SVOC(=現在分詞), 関係副詞 where, when, why, how の定着を図る。 ・読んだり調べたりした情報や考えをまとめて文を書いたり、発表したりする。	・興味のある歴史的な事物を紹介する文を書いて、友だちの前で発表する。	
3学期	1月	8	Lesson 9 The Spirit of the Modern Olympics	・オリンピックの起源について知り、その理念が近代オリンピックにどのように生かされているかを理解する。 ・分詞構文 (現在分詞), 現在完了進行形, 現在完了の受け身の定着を図る。 ・あるテーマについて、友だちと話し合ったり、意見の交換をしたりする。	・趣味やスポーツについて、話し合ったことをまとめた文を書いて、友だちの前で発表する。	3学期 期末 考査
	2月	10	Lesson 10 What Is Globalization?	・“グローバル化”が、私たちの日常生活にもたらすさまざまなメリット・デメリットについて理解する。 ・SVOO (=that 節/疑問詞節), 仮定法過去, as if + 仮定法過去の定着を図る。 ・スピーチ原稿を作成し、友だちの前で発表したりする。	・グローバル化社会についてショートスピーチをする。	
	3月	6	Reading The Conquerors	・デビット・マッキーの寓話を通し、幸福な社会を作り上げていく方法を考える。 ・登場人物の心の動きを理解しながら読み、概要をまとめて書く。	・登場人物の気持ちなどが伝わるように物語を音読する。	